

# 第10回栗東市中小企業振興会議概要

平成28年1月12日（火）午前10時00分～11時30分  
栗東市役所4階 傍聴者控室

## 1. 開会（環境経済部長）

## 2. 市民憲章唱和

## 3. 市長あいさつ

（野村市長あいさつ省略）

## 4. 協議事項

（1）栗東市商工振興ビジョンロードマップ（案）について

### 事務局

---

（事務局説明省略）

### 会長

---

みなさんご意見いかがですか。異議ないでしょうか。

### 委員

---

異議なし。

### 会長

---

特に意見がないようですので、商工振興ビジョンロードマップについて、本中小企業振興会議としては決定したいと思います。

（2）栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画（案）について

### 事務局

---

（事務局説明省略）

### 会長

---

ご意見ございませんでしょうか。

## 委員

---

8ページの「小規模事業者のための出向くコンシェルジュ制度」ですが、商工会も同様の取組みを実施していると思うが、すみわけや連携などの考え方は。

## 事務局

---

通常の統計調査では聞けない生の声を市の職員として聴いていく。それを企業情報をデータベース化する際に活かしていくことを大きな目的として持っている。また商工会が事業所を訪問されている部分と連携できるよう、平成28年度はそういう制度設計について課題を検証していきたい。

## 委員

---

近頃、大企業の賃金は増えているが、中小企業の賃金は減っている。大企業は下請け企業の給料が上がるような発注をすべきであるという議論もあるが、実際には厳しい現実がある。大企業が地元販売をできないとする理由は、価格差である。つまり、大企業の集中購買に対抗できないのが実態としてある。経団連でもこうした国、経済界の大きな流れなどを察知しながら、時流にあった対応が必要である。

## 事務局

---

栗東市の商工振興ビジョンの中でも域内の調達率を10%上げていく方向としている。商工会との行政懇談会の中でも域内調達を上げる施策の推進についての意見を頂戴している。商工会との連携や、振興会議および専門部会で数値目標を設定して制度設計していきたい。

## 委員

---

ロードマップを見る限り、膨大な数の事業をこなしていかなければならない。実現可能な受け皿があるのか、可能にするための商工会との連携があるのか。机上の空論にならないようにしてほしい。

## 事務局

---

掲載した施策を実際に進めていくためには、マンパワーと財源が必要になる。今回28年度から着手していくものを中心に説明をしてきた。即効性を求められる補助・助成事業を取り組みつつ、調査事業も28年度に挙げている。

人員体制についてはこれから来年度に向けて内部協議をしていく。必要な予算見積もりを徴取した上で予算要求をしていく。地方創生の総合戦略とのからみで、国の交付金などの依存財源を確保しながら実現できるようにしていきたい。また商工会との連携は、定期的に情報交換ができるように、常に連携をとりながら課題を共有し、施

策を進めていきたい。

## 委員

---

施策の評価をしていかなければならないが、評価を数値で表せないところはどのように表現するのか。

## 事務局

---

総合戦略を策定していく中で具体的に目標を設定していくことになるが、指標の設定の議論に至っていない。進行管理に向けては総合戦略とリンクさせることに加え、次年度においても、商工振興ビジョンとしては、引き続き中小企業振興会議と専門部会を開かせていただき、具体的に委員の皆様から数値目標の設定等についても、ご議論をお願いしたい。

## 委員

---

事業実施計画の中に具体的に担当課が決まっている施策とそうでない施策がある。担当課が明らかになれば、相談する窓口がわかりやすいのでは。

## 事務局

---

基本的に主体は商工観光課になるが、商工観光課だけではできない事業もあるので、しっかり横の連携をとりながら進めていきたい。具体的に制度設計ができていない状況にあるので、皆様のご意見を頂戴しながら形を作っていきますのでご理解お願いします。

## 委員

---

今回の事業実施計画は非常に夢の広がるものになっている。今後は窓口対応のウェイトが高くなると思う。しかし年度が変わると市は人事異動で次々と担当が変わる中で担当課のレベルをどう維持していくかが課題。また、今後の事業化に向けて、空念仏にならないよう、できることできないことを明確化すべき。しっかりとした対応をお願いしたい。

## 副会長

---

コンシェルジュ制度は墨田区や八尾市で先行例があり、一定の成果をあげている。大阪府内の自治体では、庁内公募で商工振興の専門の職員を募り、通常の人事異動の枠から外し長期間職務にあたる運用を行っており、一定の成果につながっている。そういう

ことも検討していただけると、人事異動の問題点もクリアできる。庁内職員か外部から招くか形式はともかくとして、検討していただければと思う。

事業がたくさんある点については、例えば消費者との懇談、テナントの調査というところは事業者の皆さんにも協力をいただきたい。またバスの調査、消費者ニーズの調査については私の大学でお手伝いさせてもらえることもあると思っている。

進行管理については、ロードマップの成果を上げている例は帯広市であり、2年ごとに小さな中間評価をやり、5年ごとに大きな評価で回している。数値化できるものはそうしているが、それだけでなく、実施したかどうかということをもとめたりしている。全部できないといけないということではなくて、どこまでできたのか、はっきりさせることが大切。ダメだしをするための評価をしているわけではない。今回のロードマップは評価のしやすい形で整理できたので、来年度以降のところで全部できなくとも、これだけは前進した、ここは課題が残っているということをはっきりさせていくことによって系統的な施策を打っていけるので、評価の際にはそういう形で評価をいただければと思う。

## **会長**

---

他にございませんか。なければ栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画について、本中小企業振興会議としては決定としてよろしいか。

## **委員**

---

異議なし。

### **(3) 栗東市中小企業振興会議設置要綱の改正（案）について**

## **事務局**

---

(事務局説明省略)

## **会長**

---

要綱改正についてご意見ございませんか。

## **委員**

---

異議なし。ただし第2条第1項第3号中の(仮称)栗東市中小企業振興基本条例の「(仮称)」は削除すること。

#### (4) 今後のスケジュールについて

##### 事務局

(事務局説明省略)

##### 会長

今後のスケジュールについてご意見ございませんか。

##### 委員

異議なし。

#### (5) その他

##### 事務局

(事務局説明省略)

##### 副会長あいさつ

(近藤副会長あいさつ省略)

## 5. 閉会

##### 経済環境部長

以上をもちまして第10回栗東市中小企業振興会議を閉会させていただきます。  
長時間に渡りまして、ご議論、誠にありがとうございました。